

## ★ 八木さんの起業までの道のり

- 1952年2月 0歳  
秋田県生まれ
- 1970年4月 18歳  
看護学校入学  
生まれ育った秋田を離れ、東京・国立東京第一病院の看護学校に入学
- 1973年4月 21歳  
看護婦として就職  
国立医療センターの看護婦となる。その後、夫の転勤によりいくつかの病院で勤務
- 1975年10月 24歳  
結婚  
その翌年には出産も経験。子育てと仕事を両立させる
- 1989年1月 37歳  
夫が他界  
がんで夫が他界。その後、ひとりで子育てをする
- 2006年5月 54歳  
起業  
株式会社アイナースを設立

八木さんが一番うれしいのは、夫が会社を手伝ってくれること。サイトの更新や、事務手続きなど、八木さんの苦手部分をフォロー



患者さんのお宅では、エプロンを着用。医療用なので、ポケットが小さく分かれていたり、便利にできている



訪問看護に持参する道具。看護婦だからできる芸術行為は、この仕事の大きな強みとなっている。ただし医療行為は医師の指示に従って行う

## ★ 起業にまつわるQ&A

創業資金はどれくらいかかりましたか？  
また、その資金はどのようにしましたか？  
約200万円です。資金は、自分の退職金を充てました。内訳は、ほとんどが事務所を借りるための物件取得費で、あとはデスクや医療用具など必要最低限のものを揃えるために使いました。

創業準備で一番苦労したことは？  
事務所を借りることでした。すでに会社を辞めたので、仕事を待っていない人には貸さないと言われ、とてもショックでした。保証人を立て、やっと契約できました。

看護婦の資格を生かして起業する際に、ほかに何が考えましたか？  
病院保育専門のシッター会社も考えましたが、行政で調べると、開設するための許認可関係などが厳しく、現在の道を選びました。



サイトやロゴは知人に頼んですべて制作してもらった。サイトには八木さんの思いが込められている

### 事業DATA

- 設立年月 / 2006年5月
- 資本金 / 800万円
- 売上高 / 960万円  
(2006年3月期現在)
- 所在地 / 東京都千代田区
- アクセス / 03-3239-4583
- URL / <http://i-nurse.co.jp/>

**★ 看護婦の資格に  
甘んじていた自分に気づく**

「二家に働きたい」と高いをがら、病院で働く必要がなくなった。同じ看護婦の資格を得意だ、と思ったこともあった。と話す。アイナース代表取締役の八木京子さん。

秋田で高校を卒業後、理髪科に進学した八木さんは看護婦の道を志し、東京都内の看護学校へと進学。卒業後、都内総合病院に勤務した。24歳で結婚し、その後出産。仕事はフルタイムで、その後も、仕事は休まず働き続けた。そんな日々の中、患者さんへの思い、応えてあげられない自分が悔しいと感じていくことがあったという。

「末期がんの患者さんは、最終に自宅に帰りたいとおっしゃるんです。でも病院にいた方が安心だし、ご家族の方々がすべて背負うのは怖いという気持ちがあるので、なかなか受入れできません。お互いの気持ちがわかるので、つらかったですね」

彼女は、そんな患者の苦しみを知ることができる方法はないかと苦悩していた。その頃、彼女は病院外にも目を向けたいと、自分の資格や経験をいかせようという社会福祉の資格取得を目指す。

「その講座で資格取得に向け、土曜日を努力する仲間と出会いました。自分は看護婦という資格があったので、多少みんなより知識がある姿が目につきました。その真剣なまなこに自分の甘さを察知し、そして自分も何か打込みめるものに挑戦したいと考えたのです」

長男の成人をきっかけに、看護婦の資格を生かした独立への道歩み始める

**★ 患者さんの笑顔に触れて  
この仕事の魅力を体験**

看護を病院で行うだけでは法人格が必要のため、会社を設立すること。」「事務所契約の大変さ、チラシやサイトの必要性など、分からなかった。」「知人にサイトをつくってもらった。」「いろいろな面を助けられた。」「派遣スタッフは看護婦の有資格者が必要だったが、結婚や家庭の都合で辞めていった以前の仲間たちが買回し、すぐに集まってくれた。」「こうして、2006年5月、在宅・訪問看護を行う株式会社アイナースを設立。開業したものの、営業の仕方などよくわからず、手当たり次第、開業医を回るが手こたえな。都内ほとんどの大病院に営業したが、男しくはなかった。」「営業実績がないことが、信用性に欠けるようでした。人の命を預かる大切な仕事ですから、当然ですよね」

その後、急な転勤が入り、八木さんが対応すると、その丁寧な看護と彼女の患者さんに対する姿勢が評価され、徐々に仕事が増え始めた。今は「やるだけ仕事量が増えている」という。彼女の思いを心づくまで実践できていることに幸せを感じているという。

「患者さんが、自宅に帰ると笑顔になるんです。そんな時、この仕事を始めて本当に良かったと思えます。看護以外何とも知らない白ですが、経験を生かしてできることもあるんだと実感。あきらめずにチャレンジすることが大切なんですね」

## 起業を選ぶ女性たち (FILE NO.115)



## 33年間の看護婦経験を生かし 在宅看護事業に挑戦中!

〔在宅看護〕  
株式会社アイナース  
代表取締役 **八木京子さん**(56歳)  
Kyoko Yagi

長年の経験を積んだベテラン看護婦が、資格取得の講座で知り合った人たちの前向きな姿勢に触発され、新しい世界へ飛び出す決意をした。在宅・訪問看護を行うアイナース代表取締役・八木さんを紹介する。

取材・文●浅子百合(クレンジング) 撮影●土岐節子